

平成31年 3月 5日

東北電力株式会社

女川原子力発電所2号炉 指摘事項に対する回答一覧表

(6条:火山影響評価)

No.	項目	審査 会合日	対応状況	回答
1	降下火砕物の堆積による静的負荷に関し、降下火砕物と重畳させる積雪の荷重について、関連する基準要求を踏まえて、重畳の考え方を整理して提示すること。除灰の効果を期待する場合は、積雪下での除灰の実現性について、整理して提示すること。	H30.6.28	本日回答	設置許可基準規則第6条のうち「外部事象の考慮」における荷重の組合せの考え方を踏まえて、降下火砕物による荷重に組み合わせる積雪荷重の考え方を整理した。降下火砕物による荷重と積雪による荷重の組合せにおいては、除灰の効果は期待しないものとする(【資料1-2-2】にて説明)。
2	海水ポンプモータの静的負荷に対する評価に関し、静的荷重を直接受けるカバー類について、破損した場合のモータ本体の影響を評価して提示すること。	H30.6.28	本日回答	海水ポンプモータのカバー類について、静的負荷評価を実施し、発生する応力は許容値に対して十分な裕度を有していることを確認した(【資料1-2-2】にて説明)。
3	降下火砕物の成分に酸化アルミニウムおよび酸化カリウムが含まれることを前提として、摩耗や融解の影響を評価し提示すること。	H30.6.28	本日回答	降下火砕物の成分を示す場合には、構成元素を酸化物の重量%として示すことが通例であり、酸化物の鉱物相の存在を示すものではないことを確認した。また、調査の結果、降下火砕物中に鉱物相として酸化アルミニウム及び酸化カリウムが含まれる可能性は極めて低いことから、摩耗や融解の影響も極めて小さいと考えられる(【資料1-2-2】にて説明)。
4	降下火砕物による金属材料の腐食影響評価について、評価対象と影響因子が不明確なため、網羅的に抽出・整理した上で評価していることを示すこと。	H30.6.28	本日回答	降下火砕物による化学的影響(腐食)として、影響因子と評価対象施設、腐食対策について網羅的に抽出・整理し、短期的な腐食に対する対策が実施されていることを確認した(【資料1-2-2】にて説明)。
5	間接的影響(長期間の外部電源の喪失および交通の途絶)の評価について、外部からの支援が7日以降可能となる妥当性を提示すること。開閉所の除灰について、検討して提示すること。	H30.6.28	本日回答	降灰による間接的影響(長期間の外部電源の喪失および交通の途絶)発生時の外部からの支援については、事象発生後6日間までに発電所外からの支援が受けられるよう支援計画を定めるとともに体制を整備する。また、開閉所の除灰を行うことにより、7日間以降外部電源が受電可能となることを確認した(【資料1-2-2】にて説明)。